

## 2012 年度 小委員会活動成果報告

(2013 年 2 月 12 日作成)

小委員会名	微生物改訂小委員会		主 査 名：小竿 真一郎 就任年月：2011 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	環境工学委員会 (企画刊行運営委員会)		委員長名：佐土原 聡 主 査 名：久野 覚
設 置 期 間	2011 年 4 月 ～ 2013 年 3 月		
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	2011 年度: 1.2005 年以降に得られた新しい知見を踏まえて、AIJES-A002-2005 の改定を目的として、CD を作成する。 2.2005 版では濃度規準値の提案が出来なかった「住宅」に関して、見直しと資料の追加・充実を計る。 3.新たに「高齢者福祉施設」等の設計・維持管理規準を作成する。 4. “ウイルス” に関しての記載を加える。 2012 年度: 1. 上記の「住宅」「高齢者福祉施設」での微生物に関する設計・維持管理規準及び他の 6 施設での最新情報に基づき CD・FD を完成させ、講習会 (2013 年 3 月 12 日開催) を実施した。		
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無： 主査：小竿真一郎 (日本工業大学) 幹事：湯 懐鵬 (新菱冷熱工業) 委員：大橋えり (福井大学)、菅原文子 (前郡山女子大学)、高鳥浩介 (カビ相談センター)、森兼啓太 (山形大学)、諸岡信久 (郡山女子大学)、柳 宇 (工学院大学)、横山真太郎 (北翔大学)、吉澤 晋 (国立保健医療科学院)		
設置 WG (WG 名：目的)			
2012 年度予算	150,000 円	ホームページ公開の有無：無 委員会 HP アドレス：	

項 目	自己評価
委員会開催数	7 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	1. 『微生物による室内空気汚染に関する設計・維持管理規準・同解説』改定版
講習会	1. 講習会「微生物による室内空気汚染に関する設計・維持管理規準・同解説」 参加者数 44 名
催し物 (シンポジウム・セミナー等) * 能力開発支援事業委員会承認企画	
大会研究集会	
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	1. 『微生物による室内空気汚染に関する設計・維持管理規準・同解説』刊行: 100% 2. 同上講習会の開催予定 (3 月 12 日)
委員会活動の問題点 ・課題	1. 2. 3.

- \* 小委員会活動成果報告書は本書式を基本とする。ただし、それぞれの本委員会において活動実績を報告する共通項目があれば、最下段に項目を追加して記述してもよい。
- \* 中間年度には中間評価を、最終年度には最終評価としての自己評価を記入すること。

環境工学本委員会用 自己評価欄

## 2012 年度 小委員会活動 自己評価 (最終年度評価)

総合評価 (4段階評価)	A
総合評価に関する 自由記述欄 (理由、特記事項等)	<p>2005 年度版の小改定であるが、海外の推奨値を参考にし「住宅」での浮遊真菌濃度維持管理規準値を、併せて「高齢者福祉施設」における機能形態が異なる 5 室の浮遊微生物濃度設計および維持管理規準値の提案が出来たことが当初の目標達成につながった。</p>

- 総合評価は 4 段階(A>B>C>D)にて、自己評価すること。
- 中間年度における自己評価は、単年度の活動計画・目標に対する達成度にて、最終年度における自己評価は、小委員会の設置目標に対する達成度にて評価する。自己評価の目安は以下の達成度レベルを参照のこと。
  - A 評価：小委員会設置目標に対し、80%以上の達成度
  - B 評価：小委員会設置目標に対し、70%から 80%の達成度
  - C 評価：小委員会設置目標に対し、60%から 70%の達成度
  - D 評価：小委員会設置目標に対し、60%以下の達成度
- 小委員会の活動に対し、第三者的評価・外部評価 (シンポジウム、セミナー等の催し物を開催した場合に収集した参加者の評価など) に相当する情報がある場合には、その内容も記述すること。